

当院で人工股関節置換術を受けて外来通院されている患者さんへ

「人工股関節置換術の術後臨床成績調査」（承認番号：M2000-1099）へのご協力をお願い

研究責任者（所属、氏名）：軟骨再生学講座 宮武和正

研究実施期間：承認日～2028年1月31日まで

※研究に情報を使ってほしくない場合には、下記連絡先までご連絡ください。

○人工股関節置換術について

人工股関節置換術は、変形性股関節症、大腿骨頭壊死症、関節リウマチ等により股関節痛を生じ、歩行や日常生活動作に支障をきたした患者さんに対して、世界中で行われている標準的手術です。しかしながら、感染、脱臼、静脈血栓塞栓症、人工関節の摩耗やゆるみなどの合併症が起きることもあり、再手術を要することもあります。

○人工股関節置換術の術後臨床成績調査の目的

人工股関節置換術の手術後の経過を調査することで、合併症の発生に関連する因子を特定することができます。それによって、人工股関節置換術の成績をさらに良いものにすることができると考えられます。

○人工股関節置換術の術後臨床成績調査の方法

1990年以降に当院で人工股関節置換術を受けた患者さんのカルテから股関節や全身の診察所見を調査し、レントゲン等の検査所見も検討いたします。どのような患者さんが、どのような人工関節によってどのような手術を受け、どのような経過となっているかを確認します。経過から、良好な成績に関連する因子や合併症に関連する因子を解析する予定です。解析にあたっては患者さんのお名前を匿名化します。身長、体重、手術側、使用インプラントの情報を調査します。個々人の患者さんにとっては、この研究のために新たに何かしていただくことはありません。また、日々の診察で得られる以上の利益はありませんし、また不利益を被ることもありません。

○人工股関節置換術の術後臨床成績調査へのご協力にあたって

ご自分の診察結果やレントゲン所見の結果がこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、ご遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。今回のお願いに対して同意をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めてください。同意しないからといって、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。

研究責任者（所属、氏名）：宮武和正

※研究に情報を使ってほしくない場合には、下記連絡先までご連絡ください。

○この研究成果の公表について

研究成果を論文等により公開いたします。公開内容には個人のプライバシーにかかわることは一切含みません。

○費用について

成績調査のために行われる検査は一般診療として執り行われます。それ以外の負担をお願いすることは一切ありません。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いたします。

東京医科歯科大学病院 整形外科（股関節担当）

宮武和正、高田亮平

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5678(ダイヤルイン)（平日 9：00～17：00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

